【7月・0歳児・高月齢】

	Aさん（高月齢／男児／活発） （1歳3カ月／4月生まれ）	Bさん（高月齢／女児／活発） （1歳2カ月／5月生まれ）	Cさん（高月齢／男児／静か） （1歳1カ月／6月生まれ）	Dさん（高月齢／女児／静か） （1歳0カ月／7月生まれ）
子どもの姿	1.「オムツを替えようね」と誘われると、自らトイレに向かい、ズボンを脱ごうとする姿が見られるようになった。 2. 室内やテラスで意欲的に歩行を楽しみ、バランスを崩して転んでも泣かずに立ち上がり、探索を続けていた。 3. 友だちに興味を示し、顔をのぞき込んで笑顔を見せたり、頭を撫でるなど、穏やかなやり取りが見られる一方、玩具の取り合いなどのトラブルも見られた。	1. 保育者や友だちが玩具を片づけ始めると、持っているものや渡されたものを進んで箱に入れていた。 2. 保育者に「ワンワンだね」と話しかけられると「ワーワ」と自分なりに言葉をまねする姿が見られた。 3. 友だちが登園すると近づいて出迎えたり、帰る際に手を振るなど、自分なりに挨拶していた。	無料版：2名分 ↓ 有料版の "おまもりプラス" は12名分が 閲覧＆DL可能！	
ねらい	1. 簡単な身の回りのことを、保育者と一緒にやってみようとする 2. 十分に体を動かして楽しむ	1. 楽しみながら、簡単な片づけを行う 2. 保育者とのやり取りを楽しむ		
内容	1. オムツ交換や着替えの際に、保育者に援助されながらズボンを脱ぎ、できた喜びを感じる。 2. 室内で、歩行やハイハイ、段差ののぼりおりなどの様々な動きを楽しみながら、体を動かす心地よさを味わう。	1. 保育者と一緒に使った玩具を片づけたり、自分の持ち物をロッカーにしまったりする中で、簡単な身の回りのことを自分で行う喜びを感じる。 2. 保育者と絵本を楽しみながら、指差しを受け止めてもらったり、簡単なくり返しの言葉や知っているものの名前に興味を持ち、まねして言おうとする。		
環境構成 配慮 援助	1. 本児自らやろうとする意欲を大切にしながら、ズボンを下ろす最初の動作をさりげなく援助し、スムーズに脱げるようにする。椅子や台に座るよう促し、「ここを引っ張ろうね」とわかりやすく伝えながら、ズボンの裾を引っ張って脱げるようにし、最後は「できたね」と伝えて、喜びや達成感を味わえるようにする。 2. のびのびと体を動かせるよう、広く安全なスペースを確保し、低い段差やトンネル、マットなどの遊具を十分な間隔を空けて配置する。職員間で連携を図りながら、そばで見守り安全に配慮するとともに、一緒に遊びながら様々な体の動きを楽しめるように促していく。	1. 次の活動に移る際には、さりげなく片づけに誘い、玩具や本児の持ち物を手渡しながら、「ここに入れてね」とわかりやすく伝えたり、保育者が楽しそうにやって見せることで、本児が興味を持って楽しく取り組めるようにする。片づけに参加できたときは、「できたね」「しまえたね」と声をかけてその姿を認め、達成感や喜びを味わえるようにする。 2. 落ち着いて絵本を楽しめる環境を整え、簡単なくり返しの言葉や本児が好きな動物が出てくる絵本を用意しておく。本児の指差しを受け止めながら、「○○だね」と言葉にして返したり、本児なりにまねして言おうとする姿を見逃さず、保育者も丁寧にくり返しながら、楽しさを共有する。		
食事	（完了食） ・片手でスプーンを持ちつつ、もう一方の手で手づかみ食べをする姿を見守る中で、「おいしいね」「自分で食べられたね」と伝え、食べることへの意欲を育む。 ・本児なりにスプーンを使おうとする姿を見逃さず、さりげなく手を添えて食べやすいように援助し、「できた」という感覚を味わえるようにする。	（完了食） ・好きなおかずを中心に自分で食べる様子を見守りながら、バランス良く食べ進められるよう、「お汁には何が入っているかな？」といった興味を引き出す声かけを行う。 ・途中で眠気が見られるときは、完食にこだわらず切り上げ、口の中に食べ物が残っていないことを確認してから午睡を促す。		
家庭との連携	3. 友だちとのやり取りから見られる本児の心の成長や他者への関心の広がりについて、丁寧に保護者に伝え、成長の喜びを共に感じながら見守っていく。 ・水遊びで必要な持ち物について、イラストや写真を用いてわかりやすく保護者に伝える。	3. 友だちに対して積極的に関わったり、自分なりに挨拶する様子を丁寧に保護者に伝えていくことで、本児の内面の成長を感じてもらえるようにする。 ・午後は疲れが出やすいため、体調の変化が見られた場合は、お迎えの際に保護者に共有し、家庭でも様子を観察してもらう。		
評価・反省	1. ズボンを自分で下ろすことは難しいものの、最後に裾を引っ張って脱ぐ動作には慣れ、自信を持って取り組んでいた。自分でできた喜びを十分に感じられるように関わりながら、さらに意欲を育んでいく。 2. トンネルをくり返しくぐったり、段差をよじ登るなど、活発に体を使って楽しむ姿が見られた。歩行が徐々に安定してきたため、本児の発達に応じた環境を整え、さらに多様な動きを引き出していく。	1. 保育者の声かけや手渡しにより、楽しんで片づけに参加していた。今後も楽しく取り組む中で片づけの習慣が身に付くよう、関わりを工夫していきたい。 2. 好きな動物が登場すると喜んで指を差したり、「ワンワンね」など、保育者の言葉を意欲的にまねしようとする姿が見られた。本児の興味に合った絵本を通じて、さらに言葉の発達を促していく。		

子どもの姿の1，2は『ねらい／内容／環境構成・配慮・援助／評価・反省』、 3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記：ウェブサイトに当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり Plus!

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円＋税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。